

<p>企画名</p>	<p>緑のカーテンを作ろう！2016</p>	
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市消費者の会 問合せ先 加藤マリ子 TEL: 04-7105-5292 Email: kato_mariko@hotmail.com ホームページ: http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/</p>	
<p>目的</p>	<p>緑のカーテンを作ることにより、夏を節電で快適に過ごせることを普及させる。 また、これまでの手賀沼の状況を知ってもらい、水を汚さない暮らしへの実践を促す。</p>	
<p>日時</p>	<p>2016年5月8日(日) 14:00~16:00 我孫子南近隣センター ホール</p>	
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 手賀沼を汚さない暮らしへ (加藤マリ子) 手賀沼のこれまでの状況と水質浄化への取り組みについてパワーポイントを用いて説明。また、汚れの内訳が生活系、市街地系が多いことに注目し、水を汚さない暮らしを提案。特に古布を使用したふき取りについて実演。 2. 緑のカーテンづくり「基礎編」(寺田久美子) 土づくり、ネットはり、水やり、肥料、摘心、ツルの誘引、受粉、収穫、片付けを説明。植物とネットを一緒にして捨てないことも注意。 3. 緑のカーテンなんでも相談「達人編」(中村公陽) 「種まきはこれからでも大丈夫か、摘心の位置は？水をやりすぎることはないのか、プランターの大きさは？等10項目にわたる質問があった。「水やり、肥料はたっぷり、毎日必ず見てこまめに対処する」など回答。ゴーヤの料理方法も伝授。 4. 緑のカーテンコンテストのお知らせ(深山恒男) 5. ゴーヤの苗は一人2本の予定を3本にして配布した。 	
<p>参加対象</p>	<p>一般</p>	
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 50名(大人48名、小学生2名) 会員スタッフ 15名(会員14名、講師1名) 計 65名</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">S28年以前のきれいだった頃とワースト1の頃の手賀沼。今も生活排水を汚さない気配りを！</p> </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>右：拭き取りをした後の排水</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>立派なゴーヤの苗</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">上手に育てて下さいね。</p> </div> </div>		
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>手賀沼はきれいになったと思って安心していましたが、様々な問題が起きていることが分かった。外来植物やハスについて初めて知った。きれいで豊かな手賀沼になってほしい。水をできるだけ汚さないように心がけます。 緑のカーテンの1回目はうまくいったが、2回目は失敗。土を日に干すこと、肥料をしっかり入れることが重要だった。連作してもうまく育つなんてすごい。</p>	

企画名	冬水田んぼで田植えをしよう
実施団体	団体名 NPO法人手賀沼トラスト 問合せ先 富沢 崇 TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp
目的	生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらう連続企画の第1弾。地域住民の力で里山を保全します。
日時	2016年5月21日(土) 8:30~12:00
プログラム・概要・ルート等	冬でも水をはっておく冬水田んぼは、田んぼをめぐる生きものにやさしい田んぼです。そんな生態系保全型の田んぼで、子供たちを含む地元住民の参加を得て、田植えをしました。 6家族、23名の一般参加者は、古代米の一種の黒米を植えました。8時半から11時半まで泥だらけになりながら奮闘しました。
参加対象	一般市民
参加人数	一般参加 23名(大人10名、幼児5名、小学8名)、会員スタッフ 10名



稲を育てたプールの中にオタマジャクシが！



一列に並んで整然と苗を植えま



泥遊びを始めた子もいます。



手賀沼トラストの会員。さすがに揃っています。

参加者や実施団体の感想	水が冷たくてちょっと大変だったけど、楽しかった。(参加者：小学校2年生) 子供たちの歓声が田の面に響き渡り、楽しい田植えになりました。
-------------	---

企画名	手賀沼親子自然観察会 – 手賀沼用水路で魚とり！（我孫子）
実施団体	団体名 手賀沼水生生物研究会 問合せ先 松本勝英 TEL&FAX: 04-7187-1704 ホームページ: http://suiken.teganuma.org/
目的	手賀沼の水辺の生きものについて、子どもたちや親に知ってもらう。
日時	2016年6月25日（日）10:00～12:00
プログラム・概要・ルート等	手賀沼 沼南側ヒドリ橋たもと集合 ・ 鈴木代表から本日の予定、講師の柴田佳秀さんからタモ網による魚採りのやり方の説明。 ・ モンドリを仕掛ける ⇒タモ網で魚採り ⇒モンドリを引き上げ ⇒魚の分類。 ・ 講師の柴田さんによる解説。採れた魚やエビについて、魚の見分け方、外来種(外国産、国内移入種)はどれか、どこから来たのか、どうやって手賀沼に来たのかなど。
参加対象	小学生以下は親子参加
参加人数	一般参加 66名（大人 16名、子ども 50名） 会員スタッフ 15名（会員 14名、講師 1名） 計 81名
    	
参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年もまた受付開始3時間で定員いっぱいになった。 ・ 前日も天気が悪く、当日も午後から荒れる予報があり、開催が直前まで危ぶまれたが、代表の判断で開催することに。奇跡のような梅雨晴間に無事開催できた。 ・ 魚種の少なかった昨年に比べても、さらに少なくなっている。 ・ とれた個体数も少なく、特にモンドリにほとんど魚が入らなかったのは初めてで衝撃だった。連根井より早い開催時期のせいなのか、原因は不明。 ・ 当日確認した生き物/コイ、ギンブナ、モツゴ、タモロコ、ツチフキ、ヌマチチブ、ヨシノボリ、ウキゴリ(初)、カラドジョウ(初)、ドジョウ、タイリクバラタナゴ、ミナミメダカ、カダヤシ、スジエビ、テナガエビ、シナヌマエビ、アメリカザリガニ、アマガエル、ウシガエル、ウシガエル幼生、イトトンボヤゴ、ハイイロゲンゴロウ幼生、アメンボ。

<p>企画名</p>	<p>かかし祭り</p>	
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇(事務局) TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp</p>	
<p>目的</p>	<p>生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらう連続企画の第2弾。 かかし作りを通して、自然と共生する米作り・地域作りを身近に感じてもらう。</p>	
<p>日時</p>	<p>① かかし作り・・・2016年7月16日(土)9:00~12:00 ② かかし祭り・・・2016年8月27日(土)9:00~12:00</p>	
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>5月に田植えをした冬水田んぼのために、7月16日にかかしを作りました。5家族で6体のかわいいかかしができました。 当初は8月20日に予定したかかし祭りは雨の為27日に延期。トラスト会員が作ったかかしなどとあわせて16体のかかしのコンテストを行いました。一般市民の部の中から、金賞2、銀賞1、銅賞1が選ばれました。入賞者には後日、新米が配られます。</p>	
<p>参加対象</p>	<p>一般市民</p>	
<p>参加人数</p>	<p>① かかし作り 一般参加15名(大人6名、幼児2名、小学7名) 会員スタッフ21名(会員21名) ② かかし祭り 一般参加9名(大人4名、幼児1名、小学4名) 会員スタッフ18名(会員18名、内部講師1名)</p>	
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">一家の力をあわせて！ きれいにデコレーション</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">できたぞー！ かかしと製作者たち</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">どれに投票しようかな？</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">田んぼに並んだかかし</p> </div> </div>		
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>5家族が参加し、6体のかかしを作りました。構想に見合った材料を持ってきたグループもあり、楽しそうにかかしを作りました。かかし祭りは雨で週間延期になり、生態系の講義と投票だけになってしまいましたが、同点で金賞が2組出るなど、接戦でした。「南新木のおうち」からも出展され、銅賞を獲得しました。</p>	

<p>企画名</p>	<p>手賀沼をもっときれいに！-せっけんいろいろ実験&体験-</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子石けん利用推進協議会 問合せ先 我孫子市消費生活センター TEL:7185-1469</p>
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我孫子市がせっけんの利用を推進していること、学校給食の食器洗いは、調理に使った天ぷら油をリサイクルして作ったせっけんを使用していることを伝える。 ・ なぜせっけんなのか、手賀沼の汚染とどのような関わりがあるのかを伝える。 ・ ハミガキ体験・DVD視聴・水草とカイワレ実験によって、生き物への影響の違いを知ってもらう。 ・ 汚れを流さないこと、プリプリせっけんを作って汚れ落ちの良さを知ってもらう。
<p>日時</p>	<p>2016年7月23日(土) 1回目 13:00~14:30 2回目 15:00~16:30</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ せっけんの優れているところは？ ・ 合成洗剤に含まれている蛍光増白剤を見る。 ・ P R T R法で合成洗剤成分が指定されていること、家庭から排出されるのは合成洗剤が60%以上を占めることを伝える。 ・ ハミガキ実験で、せっけんと合成洗剤の違いを体験する。 ・ DVD鑑賞：ミドリゾウリムシ・魚「アジ」への合成洗剤の影響を見る。 ・ 手賀沼の生き物とせっけんの関わり、ガシャモク・カイワレ実験 ・ 毎日どのようにお皿を洗っていますか？（よごれのふきとりで排水をきれいに） ・ プリプリせっけんを作って洗ってみよう。
<p>参加対象</p>	<p>親子（5年生以上は単独参加可）</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 43名（大人17名、小学生23名 幼児3名） 会員スタッフ 13名（協議会委員11名、市職員2名）</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ハミガキ実験で「ちがい」を体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>カイワレ大根の発芽と水草(ガシャモク)への影響のちがい</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>蛍光増白剤って？</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>プリプリせっけんをいっしょに作りました</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>【参加者の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石けんの秘密や歯磨きなどいろいろあったので楽しかったです。学習した後で、自然にいい、身体にいいということで、これから石けんを使おうと思います。 ・ 石けんや手賀沼、環境についてまだ知らないことも多くあって、勉強になりました。人にも環境にも優しい石けんをまた改めて好きになりました。 ・ 小学生の子供でも大変わかり易く実験やパワポ 資料などを取り入れてご説明いただきました。親子で関心を持って参加出来ました。

企画名	カブトムシを探そう、クワガタを探そう
実施団体	団体名 船戸の森の会 問合せ先 七尾 忠 TEL : 04-7184-5866 Email: nanao@k2.dion.ne.jp
目的	船戸の森を通して、地域の子供 と大人と一緒に、カブトムシ・クワガタを探すことで、自然を大事にすることと、生命の尊さを実感するとともに、家族のコミュニケーションを深める。
日時	2016年7月31日(日) 10:00~12:00
プログラム・概要・ルート等	① 船戸の森の自然観察とカブトムシ・クワガタ探し。 ② カブトムシ・クワガタに関するクイズにより、知識を習得する。 ③ 参加者全員に、会員飼育のカブトムシをプレゼントする。 ④ 参加者に抽選でクワガタをプレゼントする。
参加対象	地域の子どもと大人
参加人数	一般参加 77名 (大人 31名、幼児 13名、小学 32名、中学 1名) 会員スタッフ 19名 (会員 12名、講師 1名、手伝い 6名)



いつも静かな森に、こんなに大勢！集まりました！！



さあ！どこにいるかな？

はい！並んでね！！
 全員分！あるからね！！
 ！



参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加しましたが、大人にも楽しいひと時でした。 ・近所に、こんな素敵な森があったのですね。 ・子供たちや付添いの家族の方の笑顔に、また元気を貰えたひと時でした。 ・曇り後雨の予報の中の、真夏の大人数のイベント！ 好天・無事故で終了出来てホッとしました。
-------------	--

<p>企画名</p>	<p>冬水田んぼで稲刈りをしよう</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇(事務局) TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp</p>
<p>目的</p>	<p>生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらう連続企画の第3弾。 みんなで田植えをし、かかしに守ってもらったお米を収穫します。</p>
<p>日時</p>	<p>2016年9月10日(土) 8:30~12:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>手賀沼トラストの会員に混じって、稲刈りをしました。 子どもたちはもっぱら虫取り。イナゴが飛び交う中で、人気を集めたのがカマキリ。大きなカマキリを虫かごいっぱい採った子もいました。 大人はせっせと稲刈り。のこぎり鎌という特殊な鎌で刈り取り、稲わらで結束します。最初はうまくいきませんでした。慣れてくるとスピードも上がり、予定の時刻までに終わりました。</p>
<p>参加対象</p>	<p>一般市民</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加13名(大人6名、幼児3名、小学3名、大学生1名) 会員スタッフ17名(会員17名)</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>さあ、稲刈りじゃなくて、虫取りをするぞ！</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>稲を刈った後は虫がたくさん！</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>この働いた後の？かき氷がたまらん！</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>恒例の記念写真。今年も無事に終了。</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>雨つづきの天候の中、ぽかっと訪れた晴天。子どもたちが虫取りに興ずるなか、順調に作業ができました。 かき氷もふるまわれ、5杯もお替わりをした子もいました。</p>

<p>企画名</p>	<p>手賀沼親子体験ヨット乗船会（我孫子）</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ 問合せ先 森 康行 TEL: 04-7187-2499 Email: yasuyuki_mori@jcm.home.ne.jp ホームページ: http://aycabiko.web.fc2.com/</p>
<p>目的</p>	<p>セーリングを体験しながら手賀沼に親しむ機会を提供する。 セーリングを通して初歩の帆走技術を習得する</p>
<p>日時</p>	<p>2016年9月24日（土）9：30～14：30</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>8:00 運営スタッフ全員我孫子手賀沼漁協棧橋前集合。 8:05 役割分担に基づき、各自、準備。 我孫子市管理のAD2艇をみずすまし号にのせて運搬。（湖上園棧橋借用） 8:30 AD2艇、シカーラ2艇の艀装準備、救助艇2艇出動準備。 9:15 午前の部受付開始 15分の待ち時間の間、運営スタッフがライフジャケットの着装指導。 9:30 午前の部体験乗船開始。 参加者の乗船時間・・・15分 13:00 午後の部も午前と同様のサイクルを繰り返し終了。 13:30 艇の艀装解除、装備品の整理、棧橋より艇の搬出。 14:30 運営スタッフ全員解散。我孫子市管理AD2艇、みずすまし号に載せて運搬。</p>
<p>参加対象</p>	<p>市内居住の小・中学生と保護者。中学生以上は単独参加可能。</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加23名（小学生7名、幼児3名、大人13名）、会員スタッフ19名</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>天気は北東の風1～2m/Sで、水面は鏡のような状態でヨットが走らず、参加者は苦戦しているようでした。午後1時ごろから雨が降ってきましたが、午後の参加者が少なかったため、参加者は、雨にぬれることもなく終えることが出来ました。今回は昨年に比べると参加者数が大幅に少ない状態でした。我孫子市の広報でしっかり取り上げていただいたわりには残念な結果だったと思います。しかし、参加された親子は、「また乗りたい・次はいつやるのと言って」十分に満喫した様子でした。</p>

企画名	手賀沼の歴史景観をみよう
実施団体	団体名 我孫子の景観を育てる会 問合せ先 木村靖弘（歴史景観担当） TEL: 04-7184-69711 Email: kimuyasu69@nifty.com ホームページ: http://www.geocities.jp/abikokeikan/
目的	手賀沼の船上から我孫子の丘を眺め、その歴史と景観を楽しむ。
日時	2016年10月1日（土） 9:00～12:00
プログラム・概要・ルート等	【プログラム】 チャーターした遊覧船で手賀沼をほぼ一周 ・船上から我孫子の丘を眺め、我孫子と手賀沼の今昔、周辺の景観、沼の汚染を説明。 ・柏側の緑道、利根川との関連、干拓の歴史などを説明。 ・手賀沼の生物の姿、手賀沼周辺の古墳、我孫子に暮らしたゆかりの人々の紹介。 【ルート】 手賀沼公園 ⇒フィッシングセンター(曙橋) ⇒柏市沼南側散策後に再乗船⇒手賀沼公園(解散)
参加対象	どなたでも
参加人数	一般参加 36名（大人35名、小学1名） 会員スタッフ4名



手賀大橋の連続アーチを見上げる



フィッシングセンターとカワウ



曙橋（手賀沼調整水門）を渡り、干拓の歴史を聴く



松村さんの、風景と合わせた知識豊かな解説に大満足！

参加者や実施団体の感想

名ガイドの声でウトウトしていると窓ガラスに大きな衝撃が起きた。何かがぶつかったらしい。衝撃は2度3度と続き、何が起こったのか、少年A君の説「テッシーが眠りを邪魔する船をうるさいとぶつかってくるのですよ」、老人B氏の説「沼の主が船上の美人をわがものにと船を沈めようとするのだよ。今日はすぐすんだね」【中略】
 40年前、初めて手賀沼と対面した時、悪臭と水面を漂うゴミと魚の死骸に驚き、日本一に寒心したことを思い出した。高々百年程度の間人々が食べ物最優先から環境第一へと価値観を大転換させたことが驚きである。移ろいやすいは人の心。100年後の手賀沼はどうなっているのだろうか。（Kさんの感想「景観あびこ 76号より抜粋」）

<p>企画名</p>	<p>手賀沼水辺探検</p>		
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 間野 吉幸 TEL: 080-3410-8119 Email: mano@sonata.plala.or.jp</p>		
<p>目的</p>	<p>親水の心を醸成する事業は、美しい手賀沼にするためにも欠かせないもので、子どもを対象に手賀沼の魚とりの実践を踏まえ、その感動を味わってもらう。</p>		
<p>日時</p>	<p>2016年10月2日(日) 13:00~14:40</p>		
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 手賀沼フィッシングセンター周辺の広場でここでのスケジュール及び注意事項の説明。 ② 講師(漁師さん)紹介と漁師さんより手賀沼に棲んでいる魚貝類やどのような魚を獲っているか、水がきれいだった頃と汚れた頃、北千葉導水できれいになった今の話。 ③ モンドリ(カゴ網)の使い方の指導。参加者を2班(子供と大人)に分け手賀川と手賀沼栈橋に設置。 ④ 漁師さんの漁の実際を橋の上から観察。その後獲った魚の観察とその魚の説明。 ⑤ モンドリに入った魚を仕分けし水槽に入れて貰い子供たちに魚の観察と写真を撮ってもらう。 ⑥ その魚の説明をする。→「手賀沼の魚」のリーフレット(手賀沼流域フォーラム作成)を活用し観察した魚やエビ等をチェックする。 ⑦ 獲った魚は家で育て切る子には渡し、特定外来種を除き沼に戻す。 		
<p>参加対象</p>	<p>子供と保護者を含め何方でも</p>		
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 26名(大人12名、幼児1名、小学13名) 会員スタッフ15名(会員6名、講師1名、手伝い8名)</p>		
	<p>漁師さんから手賀沼の魚の今昔を聞きました。</p>		<p>願いを込めてカゴ網を手賀沼に仕掛けました。</p>
	<p>獲れた魚の説明を熱心に聞いていました。</p>		<p>特定外来種のコウライギギの幼魚が取れました。</p>
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親子とも異口同音に楽しかった発言が多数あった。 ・獲った魚を家で飼うために特製容器に入れて貰って子供たちは喜びいっぱいでした。 ・こども達はナマズなどの大型の魚を掴み魚の感触を楽しんでいた。 ・手水研と我孫子市環境レンジャーのコラボ行事は、フォーラム事務局の多大な支援があり、成功裏に終了した。何よりも参加者のありがとうが、良かった。 		

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">川めぐりと木下史跡散歩</p>	
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子の文化を守る会 問合せ先 齊藤清一 TEL: 04-7183-9815</p>	
<p>目的</p>	<p>手賀川の船上見学と史跡めぐりで、手賀沼の現況を知り、手賀沼環境保全を考える機会とする。</p>	
<p>日時</p>	<p>2016年10月3日(土) 11:45~14:20</p>	
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>集合場所の印西中央公民館にて参加者に本日の目的を説明。 [川めぐり] 渡船場から1艘11名ずつ2艘の屋形船に乗船、印西観光協会の説明で出航。 ルート: 弁天川 ⇒ 手賀川 ⇒ 下手賀川 ⇒ 手賀川 ⇒ 六軒川めぐり 約60分。 [木下の史跡探訪] 印西ふるさと案内人協会の協力により、海に埋もれていた12~13万年前の貝化石を多量に含んだ貝層と貝塚の説明を受ける。 ルート: 中央公民館前道標 ⇒ 手賀沼排水機場 ⇒ 木下河岸 ⇒ 吉岡問屋 ⇒ 木下貝層 ⇒ 上町観音堂(堂内の厨子には銅造十一面観音立像安置) ⇒ 木下駅解散</p>	
<p>参加対象</p>	<p>我孫子市民</p>	
<p>参加人数</p>	<p>一般参加17名(大人16名、幼児1名) 会員スタッフ5名</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 40%;"> <p>屋形船から見る景色に感激し、弁当を楽しみました</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 40%;"> <p>六軒川のナガエツルノゲイトウ</p> </div> </div>		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>印西ふるさと案内人協会の説明で、木下の河岸を探訪</p> </div>  </div>		
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>【参加者の感想】 屋形船から見る手賀川の風景に感激しました。 貝層と貝塚の違いを知り、感動しました。 【スタッフの感想】 連日の雨と当日の小雨で大変気を使いましたが、参加者の感謝の笑顔に喜びを感じました。</p>	

企画名	手賀沼賞 エコ・こども教室
実施団体	団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 間野 吉幸 TEL: 080-3410-8119 Email: mano@sonata.plala.or.jp
目的	我孫子市の小・中学校の生徒を対象に教育委員会学校指導課主催の「科学作品展」のなかから選ばれた「手賀沼賞」受賞作品を取り扱った公開教室の企画。 子供たちに発表機会を設けると共に、多くの人に作品の成果を広める。
日時	2016年10月16日(日) 9:30~15:00
プログラム・概要・ルート等	【口頭発表大会】アビスタ第1学習室 9:30~11:30 ①我孫子市小中学校夏休み科学作品展手賀沼種受賞作品の中から発表作品を選び、その研究成果をプロジェクターで発表した。 ②発表内容についてコメンテーターが講評した。 ③発表者には表彰状(A3版)、発表作品概要(A1版)、図書カードを授与した。 併せて手賀沼賞受賞者全員に表彰状(A4版)を贈った。 【エコクイズ大会】アビスタストリート 9:30~15:00 ①発表作品をアビスタストリートに展示し作品内容を題材にしたクイズを実施した。 スタッフが展示内容を説明しクイズ解答へのアドバイスを実施した。 ②クイズ参加者全員にパウチした名刺大の特製野鳥カードをプレゼントした。 子ども達は野鳥カード欲しさに積極的に親と一緒にクイズに参加した。
参加対象	子どもと保護者
参加人数	一般参加 409名(大人126名、幼児20名、小学251名、中学12名) 会員スタッフ11名(会員10名、手伝い1名)



素晴らしい研究発表でした。

口頭発表大会

発表を熱心聞き入る人々。



クイズは全問正解でした。

エコクイズ大会

笑顔で野鳥カードを貰う。

参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ある学校では学校の文化祭で本作品の発表会を計画しています。発表者は今回の発表で自信がついたようで発表を引き受けることになりました。 ・口頭発表大会参加者動員作戦として「招待状」作戦を展開した結果、多くの発表者の友達が参加され立ち見ができるほど盛況でした。 ・エコクイズ大会は沢山の親子が参加されクイズを通して作品の理解が深まりました。
-------------	--

<p>企画名</p>	<p>森をきれいにしよう、みんなでサツマイモほりしよう</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 船戸の森の会 問合せ先 七尾 忠 TEL: 04-7184-5866 Email: nanao@k2.dion.ne.jp</p>
<p>目的</p>	<p>船戸の森を通して、地域の子供と大人と一緒に、自然に親しみ、自然を大事にすることを体験するとともに、家族のコミュニケーションを深める。</p>
<p>日時</p>	<p>2015年10月22日(土) 10:00~12:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>①船戸の森の自然観察と森の整備(枯れ枝集め、枯れ枝の整理) ②枯れ枝をリヤカーに積んで手賀沼ファームまでみんなで運ぶ。 ③みんなで並んでサツマイモほりをする。 ④焚き火を囲んで、食パンを焼いて食べる。</p> 
<p>参加対象</p>	<p>地域の子どもと大人</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 47名 (大人 19名、幼児 11名、小学 17名) 会員スタッフ 13名</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>今年もこんなに大勢集まりました。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>枯れ枝を集めて、さあ、出発です。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ドキドキ！ちゃんと掘れるかな。こんなにたくさん！</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ワーイ！焚き火だ！！</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・枯れ枝集めやリヤカーでの運搬など、普段できないことができて楽しいひと時でした。 ・サツマイモを掘り出すときに、傷つけないかとドキドキしました。 ・焚き火で焼いた食パンのおいしさに、感激しました。 ・天候にも恵まれ、無事故で終了できてホッとしました。 ・子供たちだけでなく、大人の楽しそうな笑顔に、行事の成功を実感できました。

<p>企画名</p>	<p>手賀沼親子ふれあい探鳥会 ～親子で手賀沼周辺の山野の鳥と水辺の鳥を楽しもう～</p>		
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子野鳥を守る会 問合せ先 間野 吉幸 TEL: 080-3410-8119 Email: mano@sonata.plala.or.jp ホームページ: http://abikoyacho.org/</p>		
<p>目的</p>	<p>◆探鳥の楽しさを知って貰う。 ◆野鳥観察を通し、自然に親しみ、自然を知る。</p>		
<p>日時</p>	<p>2016年12月3日(土) 9:30～12:30</p>		
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>場所 手賀の丘公園～手賀沼 ①手賀の丘公園と手賀沼南岸の探鳥好適地で、スコープや双眼鏡で野鳥を観察する。 ②ベテランの我孫子野鳥を守る会の会員が野鳥を見つけ、スコープで身近に野鳥の姿を観察して貰う。スコープで見る野鳥の素晴らしさを堪能して貰う。 ③その上で観察した野鳥の特徴を踏まえ識別の仕方を説明。 ④野鳥は出現する場所によって野鳥の種類が異なる理由などを説明。 ⑤野鳥観察を通して、楽しみながら私たちの住んでいる自然環境を観察する目を養う。 ⑥最後に観察した野鳥の記録をする。ビンゴ賞として野鳥カード・野鳥塗り絵プレゼント。</p>		
<p>参加対象</p>	<p>子どもからお年寄りまで、何方でも。</p>		
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 40名(大人26名、幼児8名、小学5名、中学2名) スタッフ6名(会員6名)</p>		
	<p>沢山の老若男女が手賀の丘公園に集合。</p>		<p>山野の鳥を見つけ観察している参加者。</p>
	<p>手賀沼ではスコープで色々な水鳥を観察しました。</p>		<p>プレゼントの野鳥カードが子どもたちに大人気。</p>
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当日は風もなく好天に恵まれた絶好の探鳥日和で、野山と水辺の鳥の野鳥が48種観察されました。子どもも大人も全員良かった、楽しかった等を、口にしていました。 ・鳥合わせの後、野鳥ビンゴの結果に応じた当会特製の「野鳥カード」や「塗り絵セット」のプレゼントがあり、子どもたちは大喜びでした。 ・今年も昨年同様の市民の皆さんが参加して大盛況でした。 ・子どもを含めた家族参加型であるため、子どもの体調不良で直前のキャンセルが避けられなかった。 		